

Q17. 疥癬は流行しているの？

A17. 小流行が続いています。

疥癬は1980年頃から高齢者施設での集団発生が繰り返されており現在も小流行が続いています。寝たきり高齢者は自ら皮膚科受診をすることはありません。介護者やご家族の方々が気付いて皮膚科の受診に繋がっていただくことが重要です。

○ 疥癬かな？

目に見える症状

虫刺されに似た赤いブツブツが、おなか、腕や太ももなどにパラパラ増えてきます。引っ掻き傷も増えます。

経過

ステロイド外用で一旦軽快した後再発、
その後はステロイド外用を続けても悪化します。
その方の周囲で似たような症状の方が増えてきます。

要注意！

手のひらやお尻などがガサガサ、ゴワゴワしてきて、剥がれ落ちたあかが着替えの時に飛び散ったり、シーツの上などに貯まったりするようになります。

このような症状があれば疥癬の可能性があります。
集団発生が拡大する前に皮膚科専門医の受診をお願いします。